

普及センターだより 251号

大豆栽培に大きな自信

つぎは 3年4作・・・

水稲-小麦-大豆-水稲大規模ブロックローテーションに挑戦

昨年、横芝町北清水では水田転作により、6.8ha の大豆栽培に取り組みました。

播種直後に台風3号による120ミリを超える降雨。例年にならぬ害虫の発生。秋には高温日照不足による成熟の遅れ。昨年は大豆栽培にとって、厳しい条件が重なりました。しかし、栽培者の徹底した管理により、栽培初年度にもかかわらず、10a当たり収量が、170キログラムを上回る成果を上げました。



機械化で省力栽培

大豆の収量に最も影響を及ぼすのが、害虫の被害です。省力化と作業性を考えて、無人ヘリコプター(無線操縦)により、3回の防除を行いました。次に減収の原因となるのが、倒伏による被害です。対策として、トラクターけん引の3条の管理機を使い、雑草防除を兼ねた中耕培土を行いました。

コンバインでの収穫は、茎に水分が多く残っていると、その水分がほこりと一緒に実につき、実を汚してしまいます。茎の乾き具合で収穫期を判断するのがポイントです。このような機械化により、ほ場準備から収穫までの作業時間は10a当たり9時間20分でできました。



新たな挑戦

米価が続落する情勢下、少しでも収入を確保したい。栽培面積や一定の技術要件を満たせば、転作関連の助成金が10a当たり、約10万円受け取れます。それに、大豆と麦の販売代金を加えれば、10a当たり20万円前後の収入も可能です。北清水では、大豆作での成果に確信を持ち、今年から80haの水田を3ブロックに分け、毎年約27haずつの転作に取り組むことを決め、昨年末に小麦の播種を終わっています。

おいしい「味来」の作り方・食べ方

「味来」は、食感と甘さにセールスポイントをおいた、今までのスイートコーンの常識を打ち破る品種として、登場しました。消費者にもおいしさが受け入れられ、現在は生産が追いつかないほどの人気です。「味来」はおいしい反面、栽培と調理の仕方に若干の注意点があります。

肥料はどのくらい？

チッソ成分は従来品種の2～3割減で20キログラム位、リン酸は25～30キログラム、カリは20キログラム位を施して下さい。

種をまく時期は？

トンネル栽培では、3月中旬から(収穫6月中～下旬)になります。マルチだけの場合には4月上旬から(収穫7月上～中旬)、露地の場合には5月上旬(収穫7月下旬)になってから、は種しましょう。

地温と水分は大丈夫？

「味来」の種子は、従来品種と比較して、種子内に含まれる発芽に必要な栄養分が少ないため、は種時の環境を十分に整えてやらないと、発芽しないことがあります。特に、地温は発芽までの期間を左右するため、低いと発芽せずに種子が腐ってしまいます。また、吸水が発芽を開始させるスイッチの役目をするので、十分な水分も必要です。

いつとれるの？

スイートコーンの収穫適期は、てっぺんの雄花の開花日より25日位ですが、天候状況により2～3日前後することがありますので、先端をむいてこまめに観察して下さい。「味来」は、収穫遅れになると味が落ちたり、しなびが出たりするので、注意して下さい。

調理方法は違うの？

スイートコーンは呼吸をし、糖分を消費しているので、収穫後はなるべく早く調理して下さい。

ゆでる場合はたっぷりのお湯に少量の塩をふり、2～3分入れて取り出して下さい。ゆで過ぎはしなびや味の低下につながります。レンジの場合には、軽く水につけ、ラップで包み1本当たり3分入れて下さい。おいしい「味来」を、ぜひご賞味下さい。



子牛の全自動哺乳システム稼働

子牛の哺乳は、ミルクやお湯の計量、温度の管理、機具の洗浄等、大変手間がかかり気をつかう仕事です。そこで、多頭飼育をしている、東金市の Y.I.さんと山武町の S.S.さんが、全自動哺乳システム（カーフフィーダー）を導入し、省力化に大変役だっていますので紹介します。



このシステムは首に識別装置をつけた子牛が哺乳ストール（ステーション）に入ると、センサーが働き瞬時に乳首がせりだしてきます。同時に粉ミルクとお湯（電気ヒーターで 42 に保温されている）が計量され、ミキサーに投入攪拌されます。そしてチューブを經由し乳首から吸飲できるようになるのです。

哺乳量の設定は、初回 1.5 キログラムで以後ストールに入るたびに 0.5 キログラムずつ 1 日当たり最大 6 キログラムまで調製できます。また、農場のコンピュータに接続しているので個体ごとの給与量の設定の他、飲んだ量が判るので、食欲不振などの異常牛の発見もできます。

多回哺乳なので、子牛のストレスが減り、順調に成育しているとのことでした。また、ひとつのシステムで 2 つのステーションの管理ができ、1 ステーション 25 頭哺乳できますから、最大 50 頭の哺乳管理ができることになりました。

このシステムの導入によって労働時間は、機械の点検清掃と乾草給与だけになり、1 / 4 程度まで減らすことができました。

Y.I.さんは、今後スターター（固形飼料）の給餌システムも導入する予定です。



これから春にかけての うめの病害虫防除

青うめの商品価値を落とさないために、果実に病斑の発生するかいよう病と黒星病の対策を紹介します。

〔かいよう病〕

果実に紫赤色の病斑が現れるので、よく目に付きます。

開花期前後からまず枝に発病し、日がたつにつれて病斑は拡大し、表面にひび割れを生じてかいよう状になります。雨の日はここからバクテリアが出ます。

対策

- ・ 風当たりの強い所に病気が多発するので、防風垣を設置します。
- ・ 開花後から葉芽発芽前までにZボルドー水和剤の500倍液を散布します。
(注)開花期の散布は厳禁です。

〔黒星病〕

果実と枝に発病し、果実の病斑は一般に緑黒色、すす状のカビが生じます。

潜伏期間はきわめて長く、果実では42～77日というデータもありますので、収穫期に病斑が確認された場合で、幼果への感染時期は3月中旬頃の可能性があります。したがって、初期の農薬散布の時期が対策上重要な鍵となります。

対策

アブラムシ対策も含めて

- ・ 4月上旬(展葉初期)
ビスダイセン水和剤1000倍液またはデランフロアブル2000倍液とピリマー水和剤3000倍液の混用液を散布します。
- ・ 4月下旬～5月上旬(幼果期)
バイコラル水和剤2000倍液とマブリックEW1000倍液の混用液を散布します。
- ・ 5月中旬(果実肥大期)
オーソサイド水和剤800倍液とDDVP乳剤1000倍液との混用液を散布します。

女性達で軌道にのせた 「白里野菜直売所」

大網街道を海岸線に向かい、準県道飯岡一宮線が交差するすぐそばに、「白里野菜直売所」があります。

水田減反政策下の昭和 60 年、二つの生活改善グループ員が話し合い、何らかの方法で現金収入を得られないものかと検討を重ねました。その結果が、農産物の有効利用と地域住民との交流の場となる「野菜直売所」の誕生でした。「百円均一」の商品は、次第に客を呼び、低農薬栽培した旬の味が受けて、最盛期には 50 種もの野菜・漬物がパイプハウスの直売所に所狭しと並びます。



16 年を経過して、自由に使えるお金を持つことの喜びと、個々の農業経営への参加に自信を深め、一人ひとりが輝いています。「何よりも家族の協力があったから」と高齢者や子供達の力にも感謝しています。

「21 世紀も私達で頑張ろうね」と、元気な笑顔で話して下さいました。

第 251 号 (2001 年 2 月 1 日発行) より
山武農業改良普及センター